

青森県議会議員

下北の皆様の想いをつ・な・ぐ

# 山本ともや

写真：県議会第312回定例会一般質問

## PROFILE

生年月日：昭和58年2月19日生（39歳）  
 経歴：奥内小学校、近川中学校、田名部高校卒（陸上部）  
 法政大学経営学部経営学科卒  
 職歴：平成18年 むつ市役所採用（教育委員会、財政課、総合戦略課）  
 平成30年 むつ市長秘書

## 現職

青森県議会：建設委員会副委員長  
 広報図書委員会  
 原子力・エネルギー対策特別委員会  
 議会改革検討委員会

## 街頭活動継続中

12月15日現在 合計740回目



毎朝、市内のどこかの場所で街頭活動中。  
みなさまのご意見をお届けください。

## 日々のレポート



## 青森県議会第312回（令和4年11月）定例会一般質問



令和4年（12月2日）  
 青森県議会第312回定例会において、  
**山本ともや**が一般質問を行った内容を  
 紹介します。

**[大間町からむつ市大畑地区までの国道279号の早期バイパス整備を]**

**下北地域の道路整備について（2022.6月議会からの継続）**



国道279号災害復旧現場

**Q** 国道279号のバイパス整備に向けて、風間浦村で地域懇談会が開かれました。地域の皆様からは、早期整備や津波災害に備えた安全性を求める意見、バイパスを大間町へも延伸してほしいという声など、さまざまな意見が出ました。

そこで、大間町からむつ市大畑町までの国道279号のバイパス整備に向けた取組状況と今後の予定について伺います。

**A** 大間町から風間浦村易国間までの区間については、既存道路と県が代行している農道及び村道をつなぐことにより、今年度内に避難経路を確保します。

新たに整備を計画しているバイパスについては、バイパス名を「風間浦バイパス」に決定し、来年2月に予定している地域懇談会では、地域の意見を基に複数のルート案を提示し、来年度にはバイパスの概略ルート帯を決定・公表するとともに、地域の皆様と心を一つにして、大間町からむつ市大畑町までの避難路確保に向けて着実に取り組みます。【知事答弁】



## [地域の生活航路を守る]

# 大間・函館航路及び蟹田・脇野沢航路の維持について

**Q** 北海道と青森県を結ぶ交通手段である大間・函館フェリー航路は、新幹線駅がない下北にとって両道県を結ぶ重要な交通手段です。さらに、蟹田・脇野沢航路とともに、災害時の活用が見込まれ、防災の観点からも重要な航路であり、恒久運航に向けて両航路の維持に向けた県の取組について伺います。

**A** 大間・函館航路は、下北地域全体の振興に重要な航路であると考えており、県としては、航路の維持に向けて、**大間町の取組に対して必要な協力をしていく**とともに、**道南地域の周遊を促すこと**により、利用者増加に向け関係機関と連携の上で取り組んでいきます。

蟹田・脇野沢航路の維持に向けては、県、むつ湾フェリー、市町村がともに課題の整理をしながら、**新船のあり方や建造費負担について共通理解が得られるよう、丁寧に協議を進めていきます。**



津軽海峡フェリー（大間町）

【企画政策部長答弁】

## [原子力立地地域の地域振興拡充へ]

# 原子力施設の立地地域における今後の地域振興について

**Q** 政府は、脱炭素化の実現や電力の安定供給のために既存の原子力発電所を最大限活用する方針を示していますが、安全性とともに立地地域の理解が重要と考えます。原子力施設の立地地域における東日本大震災以降の経済状況を県はどのように受け止め、今後の地域振興にどのように対応していくのか伺います。

**A** 東日本大震災以降、県内原子力施設の長期間に及ぶ運転停止や工程変更等は、立地地域・周辺地域の様々な産業・経済活動において深刻な影響を及ぼしていると受け止めています。このため、先般、経済産業大臣に対し、**立地地域の実情や役割に配慮した地域支援を進める**よう要請を行い、原子力施設と地域との共生の観点から**地域振興の推進**に取り組んでいきます。

【エネルギー総合対策局長答弁】

※再質問で地域振興制度（核燃税交付金配分の見直し）の拡充を訴えました。詳細は登壇動画をご覧ください。

## [災害を防ぎ、しごとと生活を守る]

# 自然災害への対応と災害復旧工事への対応について

**Q** 2年続けての大震災。下北、上北、そして津軽地方を中心とした豪雨による被害は、自然災害が少ない本県のイメージを覆しました。本県における公共土木施設に係る災害復旧を円滑に進めるための県土整備部の取組について伺います。

また、災害復旧工事の入札契約対策としての予定価格の設定に関する考え方について伺います。

**A** 大震で大きな被害が生じた事を踏まえ、応急復旧を優先するため、災害前より施工されていた工事等については、**受注者の意向で一時中止や工期の延長が可能となる**ようにしたほか、**技術者の配置要件の緩和**をしています。

また、**市場取引価格が1円でも変動した**全ての建設建材について、翌月には単価改定することとしており、適正な予定価格の設定を含め、円滑な災害復旧工事が進むよう建設業界と連携して取り組みます。【県土整備部長答弁】



全国募集に取り組む大間高校

## [地域の未来、こどもたちの学びを守る]

# 青森県立高等学校教育改革推進計画について

**Q** 下北地区統合校の開設に向けて、むつ市等13団体が要望している検討委員会の設置について、県教育委員会ではどのように考えているのか伺います。また、地域校の活性化に向けた取組を進めるためには、県の関与や支援が必要と考えますが、県教育委員会の見解を伺います。

**A** 県教育委員会としては、**今後も関係団体との情報交換を実施し、対話を継続するとともに、開設準備委員会等において、統合校の教育活動の充実に向けた検討を進めていきます。**地域校の活性化については、**各校の魅力を全国に発信できるよう、様々な媒体による広報活動等を行うなど、魅力ある高等学校づくりを推進します。**【県教育長答弁】

青森県議会議員として、むつ市・大間町・東通村・風間浦村・佐井村、そして青森県の課題に取り組んでまいります！

令和4年11月  
第312回定例会

山本ともや  
登壇動画はこちら！→



これまでの**山本ともや**の  
「青森県議会での質問」発言記録はこちら！→



Facebookで  
日々の活動を公開

<https://www.facebook.com/aomori.yamatomo>



皆様のご意見、  
ご要望を**山本ともや**まで  
お寄せください

青森県議会議員 山本ともや事務所

〒035-0041 青森県むつ市金曲一丁目7番10号 TEL: 0175-33-2058 FAX: 0175-33-2068  
E-mail: yamamototomoyajimusyo@gmail.com URL: <https://www.yamamototomoya.net>